

知多市生涯学習まちづくり推進計画における生涯学習スポーツ課 前期（令和3～6年度）事業計画について

| 基本施策 | 推進項目 | 取組項目 | 今後の方向性 | 令和4年度 事業内容 | 令和4年度事業実績 | 令和5年度 事業内容 |
|---------------------------|---|--|---|--|--|--|
| 1 学びにつながるきっかけづくり | (1)学習ネットワークの活用 | No.1 公共施設等で活動するサークル団体等のネットワークの活用 | <ul style="list-style-type: none"> 市内の公共施設等で活動する各種サークル団体と学びたい人を結びつけ、市民団体の継続的な生涯学習活動を促すとともに、公共施設での学習相談を拡充します。 構築したネットワークを活用し、団体同士の交流を図ることで、さらなる活動の輪を広げていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に向けてさらに掲載する団体数、施設数を増やしていくために、東部福祉会館はじめ、まだ照会をかけたことがない施設で活動する定期利用団体に、掲載の照会、周知をします。 令和5年度の掲載の照会をする際に各施設に定期利用団体の活動状況を調査依頼し、掲載内容を更新していきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和4年12月に、つづしが丘コミュニティセンター、ベティさんの家旭公園体育館で活動する団体に対し「まなちた」を周知し、併せて掲載意向についてのアンケートを行いました。 既に掲載されている団体について最新の情報に更新するため、掲載団体に掲載内容の確認の照会を行いました。 令和5年3月末に、令和5年度版の生涯学習団体情報誌「まなちた」を更新しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 「まなちた」は、令和4年度と同様、各施設に定期利用団体の活動状況の調査を依頼し、各団体の掲載内容を更新していきます。 「まなちた」は、まだ認知度が低いいため、一人でも多くの方に見てもらえるよう、ホームページやSNS等でPRをしていきます。 |
| | (2)子どもの読書活動の推進 | No.2 子どもの読書活動の推進に向けた学校、家庭、地域及び図書館による連携体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自主的に読書をする習慣を身に付け、本との出会いや感動を通して知識を深め、豊かな感性を磨くことができるようにします。 幼少期から本に親しむ環境と機会を設け、「読書が好き」という子どもを市全体で育てていきます。 読書が嫌いな子ども、1か月にほとんど本を読まない子どもの割合（不読率）を減らします。 「知多市子ども読書活動推進計画」（令和3年～令和12年）を策定し、具体的な施策を行っていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館において、子どもの成長段階に応じて好奇心を刺激する各種事業（ブック展、図書館を使った調べる学習地域コンクール、お楽しみ本等）を引き続き展開します。 児童室・YA（ヤングアダルト）コーナーの充実や、YAサポーターや中学生ボランティア等子どもと連携した取組を実施し、子どもたちが中央図書館に親しむきっかけをつくり、子どもの読書活動と図書館利用を促進します。 学校との連携事業では、友人同士で本を薦め合う機会（読書会、ブックトーク、ビブリオバトル等）を充実させ、子どもが本と出会うきっかけを作ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ブック展を毎月開催し、第7回図書館を使った調べる学習地域コンクールや各種講座開催等、子どもの好奇心を刺激する事業を実施しました。施設見学、こども図書館員、中学生ボランティアなどの活動を通じて、図書館の利用促進に努めました。 児童室・YAコーナーの展示を毎月目線を変えて実施しました。YAサポータークラブは6回活動し、図書館事業にも主体者・協力者として参加し、図書館を身近に感じてもらいました。 学校との連携事業として、4小中学校（佐布里・旭南・南粕谷小学校、東部中学校）を計14回訪問し、ブックトークや英文多読資料の貸出などを実施し、子どもの読書活動と学校図書室の利用を促進しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館において、第8回図書館を使った調べる学習地域コンクールや各種講座・イベントを開催し、本と出会う機会を提供していきます。 YAサポーターや中学生ボランティア等子どもと連携した取組を実施し、子どもたちが図書館に親しむきっかけをつくり、子どもの読書活動と図書館利用を促進します。 学校との連携事業では、ブックトークや英文多読の活用などにより学校図書室の支援を充実させ、利用促進を図ります。 |
| | (3)多様な学習情報の提供 | No.3 生涯学習ガイドブック「コノハナ」等による多様な生涯学習情報の発信 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生涯学習ガイドブック「コノハナ」による豊富な学習情報を提供するとともに、市民ニーズの高い生涯学習情報の把握に努めることで、市民の積極的な生涯学習活動を促します。また、協定を結んだ企業等と協議し、出前講座の内容の充実を図ります。 図書館への「生涯学習ブース」の設置や「学びネットあいち」との連携など効果的な情報提供を行います。また、生涯学習ガイドブック「コノハナ」を音訳・点訳して提供するなど、新たな情報発信手段を検討することで、いつでも、どこでも、だれでも生涯学習情報を受け取ることができるようにしていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ガイドブック「コノハナ」を引き続き作成し、特集ページで「市民美術展」「ミニコンサート」等の生涯学習情報を掲載します。 引き続き音訳・点訳した生涯学習ガイドブック「コノハナ」の提供をします。 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ガイドブック「コノハナ」を作成し、特集ページで市民美術展、ミニコンサート、ふれあいプラザ祭、歴史民俗博物館企画展の生涯学習情報を掲載しました。 音訳・点訳した生涯学習ガイドブック「コノハナ」の提供をしました。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き作成する生涯学習ガイドブック「コノハナ」の市・教育委員会等主催講座、出前講座、特集ページ等を有効に活用し、生涯学習活動を積極的に促します。 引き続き音訳・点訳した生涯学習ガイドブック「コノハナ」を提供します。 「学びネットあいち」に掲載する記事を随時更新していきます。 |
| 2 多様なニーズに対応した学習機会の提供 | (1)ライフステージに応じた学習の提供 | No.4 市民大学ちた塾による新規講座の開拓 | <ul style="list-style-type: none"> 世代を問わず、多くの市民に認識される市民大学ちた塾になっています。 仕事や子育てなどにより学習時間や場所が限られてしまう働く世代でも、学びやすい環境が整っています。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き内部会議の一部をオンライン化し、オンラインで受講できる講座の実施に向けて準備を進めます。 令和5年度の講座開設に向けて、小学校での部活動の受け皿となるような講座について、検討・準備を進めていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 内部会議の一部をオンライン化し、オンラインで受講できる講座の拡充に向けて検討を進めました。 令和5年度後期から、子どもの金管アンサンブル「ちたUMEプラス」を勤労文化会館と共催で開始することを決定し、活動を開始するための「準備バンド」として、小学校3年生から6年生までの児童の参加者を募集し、金管楽器の講座を開催しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 働く世代や子育て世代でも受講しやすいよう、土日や夜間講座の新規講座について検討します。 引き続き、子どもの金管アンサンブル「ちたUMEプラス」を支援し、小学校での部活動の受け皿となる講座の開拓を進めていきます。 |
| | No.5 オンライン講座の配信 | <ul style="list-style-type: none"> いつでも、どこでも学習することができるよう出前講座に留まらず、市主催事業や共催事業など多種多様な講座を配信することで、視聴者が「見たい！学びたい！」と思う動画を増やしていきます。また、SNS等を活用するなど、情報発信手段を工夫することで、より多くの市民に動画を視聴してもらい、タイムリーで効果的な情報提供をします。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度より進めている「動画の作成方法」の動画を職員内で公開し、各課の事業を動画作成できるように整備していきます。 オンライン版出前講座の動画を年間10本を目標にアップロードするとともに、多岐分野に渡るよう、まだ動画を上げたことのない課にも呼びかけていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> オンライン出前講座を各課で作成できるよう「動画の作成方法」を作成しました。これにより、作成が無事に完了した事例もあり、各課で作成してもらうための第一歩となりました。 令和4年度には7本（累計26本）の出前講座をアップロードしました。また、7・10・1月に、オンライン出前講座の作成を依頼しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 現在公開している動画の分野に偏りがあるため、地域社会、環境、福祉などの分野についても動画が作成できるよう調整していきます。 | |
| | No.6 学び直しの機会の提供（リカレント教育講座、公民館講座の開催） | <ul style="list-style-type: none"> 「学び直したい！」という市民の「欲求」に応える魅力ある「学びの場」づくりを目指します。 ニーズに合った企画や情報を提供し、指導者を大学や高校、企業、官公庁等からだけでなく、広く地域の中から発掘し、専門性の高いものから小さな子どもと一緒に学べるものまで、幅広く「リカレント教育」を応援します。 | <ul style="list-style-type: none"> 少年少女発明クラブのデモンストレーション講座「わくわく！サイエンスラボ」を開催します。 コロナ禍での安心安全を踏まえ、星城大学、日本福祉大学との提携講座（リカレント教育講座）を開催します。 明治安田生命の講師で地元の公民館元気プロジェクトとしてMY定期講座を開催します。 | <ul style="list-style-type: none"> 「わくわく！サイエンスラボ」を8月7日と12月18日に実施しました。 リカレント講座として、星城大学提携講座を10月4日に、日本福祉大学提携講座を1月15日に実施しました。 MY定期講座として、女性のための健康づくり栄養講座を6月19日と7月10日に実施しました。 バスを利用した公民館講座として、西尾市歴史公園、西尾市資料館を巡る講座を5月28日に、セントレアでの飛行機講座を11月3日に実施しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 愛知県の歴史や文化について楽しく学べる史跡ツアーを開催します。 様々な分野に対する向学心に応えるため星城大学、日本福祉大学との提携講座（リカレント教育講座）を開催します。 地元の公民館元気プロジェクトとして、よりよい睡眠をテーマとしたMY定期講座を開催します。 公民館での生涯学習活動のきっかけづくりとして、公民館活動の体験講座を開催します。 | |
| No.9 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> マラソン大会などの各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及が図られ、子どもから大人、高齢者や障がいのある人など、だれでもスポーツを楽しむことができる機会を提供し、市民一人ひとりのライフステージに応じたスポーツ活動を推進していきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 働く世代や子どもに加えて家族で参加でき、だれもが気軽に楽しめるイベントとして、ちた梅子マラソン大会を開催します。 スポーツ協会やスポーツ推進委員会、レクリエーションスポーツ運営委員会などを中心に各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及を図るとともに、子どもから大人までそれぞれのライフステージに合ったスポーツ活動の機会を提供します。 | <ul style="list-style-type: none"> 働く世代や子どもに加えて家族で参加でき、だれもが気軽に楽しめるイベントとして、ちた梅子マラソンを11月20日に開催しました。 スポーツ協会やスポーツ推進委員会、レクリエーションスポーツ運営委員会などを中心に各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及を図るとともに、子どもから大人までそれぞれのライフステージに合ったスポーツ活動の機会を提供しました。 →10月22日・23日 レクスポひろば、10月23日 あそびチャンピオン大会等 | <ul style="list-style-type: none"> 働く世代や子どもに加えて家族で参加でき、だれもが気軽に楽しめるイベントとして、ちた梅子マラソン大会を継続して開催します。 スポーツ協会やスポーツ推進委員会、レクリエーションスポーツ運営委員会などを中心に各種スポーツ事業を開催し、競技力の向上やレクリエーションスポーツの普及を図るとともに、子どもから大人までそれぞれのライフステージに合ったスポーツ活動の機会を提供します。 | | |

知多市生涯学習まちづくり推進計画における生涯学習スポーツ課 前期（令和3～6年度）事業計画について

| 基本施策 | 推進項目 | 取組項目 | 今後の方向性 | 令和4年度 事業内容 | 令和4年度事業実績 | 令和5年度 事業内容 |
|----------------------|-----------------|---------------------------|--|--|--|---|
| 2 多様なニーズに対応した学習機会の提供 | (2) 伝統、文化、芸術の振興 | No.10 ジュニアサークル事業の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 既存のジュニアサークル団体へヒアリングを行い、支援方法の見直しを行うことで、より多くの子どもたちに文化・芸術活動を学ぶ場を提供できるよう取り組んでいきます。 経験豊かな地域の人材を発掘することで、新たな分野のジュニアサークル団体を増やし、子どもたちが集まる公共施設などでの事業周知をすることで会員数を増やしていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ジュニアサークルを支援するため、文化庁による伝統文化親子教室事業としてジュニア囲碁サークル、ジュニアかるたサークルを申請します。 引き続き、SNSを活用し、ジュニアサークルの会員募集を行い、会員数の増加に繋がります。 既存のジュニアサークル団体が抱えている課題をヒアリングし、支援方法の見直しを進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ジュニアサークルを支援するため、伝統文化親子教室事業として「ジュニアかるたサークル」を文化庁へ申請しました。 SNSを活用し、ジュニアサークルの会員募集ができるよう準備しています。 1月末にジュニアサークルを視察しました。 次年度の会場利用の調整をしました。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に引き続き、各団体の活動状況をヒアリングし、実情に合わせた支援を行います。 会員不足が課題であるため、チラシやSNS等で募集し、会員数の増加に繋がります。 |
| | | No.11 市民美術展事業の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 市民参加型の取組を行い、美術展に興味関心を持って来場する市民を増やします。 出品規定の見直し、出品者へ来場者の感想をフィードバックするなど、より門戸の開かれた事業展開を行います。 宣伝媒体を工夫することで、「知多市民美術展にぜひ出品・来場したい」という市民を増やし、本市最大の美術の祭典にしていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 11月18～20日まで3日間開催します。引き続き、市民向けのワークショップなど参加型の取組を行い、市民が美術に親しみきっかけを作ります。 作品のPRポイントの記載、動画による作品紹介、「ミニライブラリー本」、ジュニア作品の展示等、様々な年代の来場者が芸術に興味や関心を持てる取組を実施します。 市各種SNSや新聞等の広告媒体でPRを行い、市民美術展の認知、来場者数の増加に繋がります。 | <ul style="list-style-type: none"> 11月18～20日の3日間開催しました。小学生を対象としたワークショップ等、市民参加型の取組を行ったことで、来場者の増加に繋がりました。 作品のPRポイントの記載、動画による作品紹介、「ミニライブラリー本」、ジュニア作品の展示等、様々な年代の来場者が芸術に興味や関心を持てる取組を実施しました。 市各種SNSや新聞等の広告媒体でPRを行い、来場者数が増加しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 11月24～26日まで3日間開催します。引き続き、市民向けのワークショップなど参加型の取組を行い、市民が美術に親しみきっかけを作ります。 知多市民美術展審査運営委員会を実行委員会に移行することで、市民や委員の意見を効率的に反映します。 美術展出品者等から協賛金を募り、財源を増やすことで、より魅力的な美術展とします。 若い世代を中心に、より多くの方の美術展への出品数が増えるよう、受賞記念品を需要の高い賞金(商品券)とすることで芸術家の今後の活動に還元します。 作品のPRポイントの記載、動画による作品紹介、「ミニライブラリー本」、ジュニア作品の展示等、様々な年代の来場者が芸術に興味や関心を持てる取組を実施します。 市各種SNSや新聞等の広告媒体でPRを行い、市民美術展の認知、来場者数の増加に繋がります。 |
| | | No.12 勤労文化会館事業の充実 | <ul style="list-style-type: none"> より多くの市民に対して、話題性のある文化芸術鑑賞事業やアウトリーチ活動、市民参加型事業などを実施することで、文化芸術は身近なものであると感じる市民が増えるよう取り組んでいきます。 ボランティア養成講座等を開催することで、地域で文化芸術活動をしている団体の支援をすることができる人材育成を行い、多くの市民が文化芸術に触れる場を提供していきます。 感染防止対策を講じた新しい生活様式を取り入れた事業を開催することで文化芸術に触れる機会が失われることが無いよう努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 上質な文化に触れる機会を提供するため、引き続きテレビ等のメディアに出演している知名度の高い方を招いた講演会を開催します。また、市民が文化芸術を身近に感じられるよう、第九ワークショップやバックステージツアーなどの市民参加型事業を継続して行います。 知多市に在住する外国にルーツのある方と市民が互いに理解し、尊重するきっかけを創出するため、「みんな映画祭」を開催します。 | <ul style="list-style-type: none"> 市民が上質な文化に触れるよう、瀧川鯉斗さんによる落語や、0歳児から鑑賞できる劇団うりんこのベイビーシアター「MARIMO」など、講演会やコンサートを開催しました。また、市民参加型事業として、スタインウェイマイコンサートやバックステージツアーを開催しました。 「みんな映画祭」では、3か国の映画を放映するほか、世界各国のグルメを販売するなど、多文化交流活動を行いました。 | <ul style="list-style-type: none"> 上質な文化に触れる機会を提供するため、年間を通じて、実力のある出演者を招き、魅力ある演奏会や演劇公演などの鑑賞事業を行います。また、市民の独自の文化・芸術活動を促進するため、市民参加の講座なども行います。 引き続き、市内小学校での活動がなくなった金管バンドクラブ活動については、子どもたちが金管バンドの活動ができるよう、「ちたUMEプラス事業」を実施します。 |
| | | No.13 歴史民俗博物館における各種展覧会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 展覧会の内容の充実を図るため、収蔵資料だけではなく、他の博物館等の収蔵資料も併せて展示するなどの工夫をします。また、郷土の歴史や伝統・文化に関する調査研究の成果を展覧会や講座などを通してフィードバックし、市民の学びや郷土理解につなげ、郷土への親しみを深めてもらうことを目指します。 福祉施設や教育機関等に対し、展覧会などの案内や出前講座の提案をするなど、より開かれた博物館を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> 年7回、郷土に関連した展覧会を開催します。企画展「教科書のあゆみと懐かしの学び舎」は市内の小中学校にも協力してもらい実施します。また、一般・子どもを対象とした講座を開催し、郷土への親しみを深めてもらえるよう努めます。 市内の学校に展覧会や講座のチラシの配布を依頼し、PRします。また、市内の幼稚園、保育園、小中学校に積極的に出前講座の提案をします。 | <ul style="list-style-type: none"> 7回の展覧会が終了しました。また、予定していた一般・子どもを対象とした講座は全て終了しました。 市内の小中学校にチラシを配布しました。出前講座は小学校1回と一般の方向けに1回実施しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 特別展示室の貸出があるため、今年度は年6回、郷土に関連した展覧会を開催します。企画展「没後50年 大澤鉦一郎展」は遺族の方から作品を借用する予定です。また、一般・子どもを対象とした講座を開催し、郷土への親しみを深めてもらえるよう努めます。 市内の学校に展覧会や講座のチラシの配布を依頼し、PRします。また、市内の幼稚園、保育園、小中学校に積極的に出前講座の提案をします。 |
| 3 学習環境の充実 | (1) 生涯学習関連施設の充実 | No.15 市民が利用しやすい新図書館の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 新図書館は、「新図書館基本計画」に沿って、基本理念である「知をもとめ 多世代つどう いこいの場」及び3つの基本方針である「ともに学び合い、知を育む図書館」「多世代にやさしい図書館」「くつろぎと憩いの図書館」の実現を目指します。 子どもから若者、子育て世代、高齢者まで様々な年代が、気軽に知識や情報を得られるとともに、学生、会社帰りの社会人などの自主学習やビジネス利用、多世代の居場所としてゆったりとくつろげる知と憩いの拠点施設を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> 朝倉駅周辺整備事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、延期されたことに伴い、図書館施設整備管理事業も延期となっています。事業を再開した際は、新図書館基本計画の見直しを行うなど、より良い図書館が整備されるよう努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 朝倉駅周辺整備事業の関係課と今後のスケジュールの確認など、新図書館整備についての情報共有を行いました。また、より良い図書館が整備できるよう、現在の指定管理者にハード面やソフト面についてなど、今後の図書館機能に必要な事項についてヒアリングを行いました。 | <ul style="list-style-type: none"> 朝倉駅周辺整備事業が再開されたことに伴い、図書館の整備手法やZEB化について検討するほか、新図書館基本計画や事業者の公募要領要求水準書の見直しを行い、より良い図書館が整備されるよう事業を推進します。 |
| | | No.16 スポーツ施設の整備 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツを通じた健康づくりのまちとして知られるようになり、サッカーの大会など、各種スポーツイベントを通じた交流を求めて、全国からスポーツ好きが集まり、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援していきます。 新たにスポーツを始める市民が増え、子どもから高齢者まで多くの市民がスポーツを楽しめるよう、健康増進施設や多目的グラウンドなどを整備、活用していきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 愛知県サッカー協会が整備したフットボールセンター知多でサッカーの大会や地域のイベントが開催され、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援します。 野球、サッカー、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなどの利用ができる南5区多目的グラウンドで各種スポーツ事業を実施するとともに、市民団体の利用促進を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> 愛知県サッカー協会が整備したフットボールセンター知多でサッカーの大会や地域のイベントが開催され、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援しました。 名古屋オーシャンズ株式会社と互いの資源や魅力を活かして、相互の発展を図ることを目的とした連携・協力に関する包括協定を締結しました。 野球、サッカー、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなどの利用ができる南5区多目的グラウンドで各種スポーツ事業を実施するとともに、市民団体の利用促進を図りました。 →5月22日 市バタック大会、11月5日 市グラウンド・ゴルフ大会 等 | <ul style="list-style-type: none"> 愛知県サッカー協会が整備したフットボールセンター知多でサッカーの大会や地域のイベントが開催され、賑わいが生まれ魅力ある場所となるよう支援するとともに、包括協定を締結した名古屋オーシャンズとの連携・協力を図っていきます。 野球、サッカー、ソフトボール、グラウンド・ゴルフなどの利用ができる南5区多目的グラウンドで各種スポーツ事業を実施するとともに、市民団体の利用促進を図ります。 |

知多市生涯学習まちづくり推進計画における生涯学習スポーツ課 前期（令和3～6年度）事業計画について

| 基本 施策 | 推進項目 | 取組項目 | 今後の方向性 | 令和4年度 事業内容 | 令和4年度事業実績 | 令和5年度 事業内容 |
|---|----------------------------|---|---|--|--|--|
| 3 学 習 環 境 の 充 実 | (1)生涯学習関連 施設の充実 | No.17 中央図書 館サービスの充 実 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズを把握し、話題性のある図書資料の収集を行うほか、市民が興味を持てる題材を提供するなどし、学びを習慣づける支援を行うことで、市民は自ら学びを切り開く力が身についています。 ・市民が積極的に生涯学習活動に取り組めるよう、図書館協力団体をはじめとした団体や小・中・高等学校と連携・交流の機会を提供するとともに、市民参加型の事業を展開することで、知の拠点として地域をつなぐ図書館を目指します。 ・電子書籍等、新しい書籍の提供方法を検討していきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどを活用してタイムリーな情報発信を行うとともに、「ブック展」や「図書館を使った調べる学習コンクール」など様々な事業を展開し、引き続き市民の読書に対する興味・関心を高めます。 ・YAサポータークラブや図書館協力団体などの各種団体と連携した事業を展開するとともに、ブックトークや図書委員会支援などの学校連携事業を通じて児童・生徒の読書活動を促進します。 ・SDGsを意識した企画展示や事業を実施いたします。 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館への関心を高めるためにツイッター、インスタグラムでイベント情報や館内企画展示の様子を随時発信しました。一般向けの講座に加え、子供向けのプログラミングや英文多読の講座等を開催し、広く学べる場を提供しました。 「ブック展」を毎月開催し、時節やテーマに沿った本を展示して、読書スタイルを提案しました。 図書館を使った調べる学習コンクールを実施し、自分で課題を見つけ、その課題を解決する足がかりとして図書館で資料を調べてもらい、図書館の利用促進と習慣づけに繋がりました。95点の応募作品があり、10月15日に表彰式を行いました。 ・YAサポータークラブは中高生30人で構成され、図書館で6回の活動を行いました。「司書たま」発行などの活動を通じて同世代の仲間に読書の楽しさを伝えました。また、YAサポータークラブが企画立案し夏休みに開催した謎解きイベントは、中高生の好評を得ました。 ・学校連携では学校に出向いて図書室利用促進のためのアドバイスやブックトーク、英文多読図書の貸出を実施しました。 ・毎月のブック展の一部でもSDGsに触れ、11月にはSDGsに関わる展示を実施して、利用者の意識づけ及び身近なところからの行動を促していくことに努めました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNSを活用してタイムリーな情報発信を行うとともに、「ブック展」や各種講座、ワークショップなど様々な事業を展開し、引き続き市民の読書に対する興味・関心を高めます。「図書館を使った調べる学習コンクール」を主催し、児童・生徒が主体的に学ぶことの楽しさを知る機会を提供します。 ・図書館協力団体などの各種団体と連携した事業を展開するとともに、YAサポータークラブ、子ども図書館員や中学生ボランティア活動、ブックトークや英文多読資料の貸出などの図書委員会支援を積極的に行い、小・中・高等学校と連携して児童・生徒の読書活動を促進します。 |
| | | No.18 勤労文化 会館の有効活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズを把握するとともに、施設の有効活用や全館利用できる公衆無線LANの整備、柔軟な利用が図られる時間区分変更を検討し、市民の文化芸術活動がより活発に行われ、学習の幅を広げることができる文化会館を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も利用者アンケートを行うことで市民ニーズを把握し、管理運営に反映するほか、いつでも・誰でも文化芸術に触れることができるよう、まちかどギャラリー事業の推進やまちかどピアノの利用の促進を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズを把握するため、12月に利用者へのアンケートを実施しました。 引き続きまちかどギャラリーの展示会場として発表の場を提供するほか、まちかどピアノについては、エントランスホールからつつじホールをホワイエに設置場所を移し、会議室等を気にせずいつでも利用できるようにしました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズを把握するために、今年度も利用者アンケートを行います。また、全館利用できる公衆無線LANの整備を進めるほか、いつでも・誰でも文化芸術に触れることができるよう、まちかどギャラリー事業の推進を行います。 |
| | | No.19 ふれあい プラザの有効活 用 | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の拠点として、学びのニーズを反映させるとともに、新たな事業である「少年少女発明クラブ」の実施や「ふれあい」事業の拡大などにより、新たな学びの機会を提供し、若い世代などへの公民館利用拡大を目指します。 ・施設の仕様や備品、利用区分の見直しを検討し、だれもが使い勝手がよく、居心地のいい施設づくりを目指します。 ・複合施設「ふれあいプラザ」の利点を最大限に活かし、各施設の垣根を越え、様々な団体や機関等がつながり、さらなる生涯学習の輪を広げることを目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の生涯学習活動の拠点施設として、少年少女発明クラブの発足準備、大学や企業と連携したりカレント講座の開催など、学習機会を提供します。 ・老朽化した高圧受変電設備等の修繕を行い、施設の利便性向上を図ります。 ・児童センター及び男女共同参画センターとともに、各施設の垣根を越え、様々な団体や機関等がつながり、コロナ禍に対応した安心安全なふれあいプラザ祭を開催します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・少年少女発明クラブの発足に向けてデモ講座を2回、指導員打合せを5回、学習機会の提供として大学提携講座と企業連携講座を開催しました。 ・高圧受変電設備と消防設備を修繕し、施設の利便性の向上を図りました。 ・児童センター及び男女共同参画センターとともに、コロナ禍に対応した安心安全なふれあいプラザ祭を4年ぶりに開催しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の生涯学習活動の拠点施設として、少年少女発明クラブの発足、大学や企業と連携したりカレント講座の開催など、学習機会を提供します。 ・老朽化した消防設備等の修繕、WiFi環境の整備により施設の利便性向上を図ります。 ・児童センター及び男女共同参画センターとともに様々な団体や機関がつながり、ふれあいプラザ祭を開催し、少年少女発明クラブの作品展も同時に開催します。 |
| | | No.20 歴史民俗 博物館の有効活 用 | <ul style="list-style-type: none"> ・収集資料を活用した教育活動を推進するため、小・中学校などの教育施設と連携し、館内で実施する教室等のほか、館外での出前講座や資料の貸し出し等を行います。また、他の博物館等と連携し、収集資料の貸借、情報交換を密にして、より魅力的な事業を展開します。 ・展示解説等をデジタル化し、スマートフォン等で閲覧できる資料の拡充を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校が必要とする出前講座を積極的に実施します。また、他の博物館等に定期的に連絡し、情報交換に努めます。 ・スマートフォンを使って閲覧できる常設展示解説の内容を一層充実させ、新たに収集した資料をデータベースへ定期的に登録することで、ホームページで閲覧できる資料を増やしていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・旭東小学校で出前講座を実施しました。また、田原市博物館、東浦町郷土資料館に所蔵資料を貸し出しました。 ・データベースへの登録を定期的に実施、18,966件のデータをホームページで閲覧することができるようにしました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校が必要とする出前講座を積極的に実施します。また、他の博物館等に定期的に連絡し、情報交換に努めます。 ・スマートフォンを使って閲覧できる常設展示解説の内容を一層充実させ、新たに収集した資料をデータベースへ定期的に登録することで、ホームページで閲覧できる資料を増やしていきます。 |
| 4 学 校 、 家 庭 、 地 域 、 民 間 団 体 、 企 業 、 行 政 の 連 携 | (1)地域で子ども を育てる環境づく り | No.23 地域学校 協働本部の設置 及び地域学校協 働活動推進員の 配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働していきます。 ・地域住民等も教育の当事者になることで、責任感を持ち、積極的に子どもの教育に携わり、学校運営や教育活動へ参画することで、生きがいにつながり、子どもたちの学びや体験の充実を図ります。 ・地域住民等と学校が「顔が見える」関係となり、地域住民等の理解と協力を得た学校運営を実現します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月から運用開始した南粕谷小学校区地域学校協働本部では、南粕谷小学校区の地域学校協働活動推進員を中心に、地域と学校の連携事業の実施やかすやっ子ボランティアの募集・活動などを実施します。 ・令和6年度から運用開始予定の旭南中学校区小・中学校(旭南中、旭東小、旭南小)における地域と学校の連携状況を把握するとともに、各地域の特色を活かした新制度の導入を検討します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・南粕谷小学校区地域学校協働本部では、地域の方がゲストティーチャーを務める「かすや交流講座」「地域文化クラブ」などを開催したほか、子どもたちの豊かな学びを実現しました。また、ちたっ子ボランティアと連携して除草作業を行いました。 ・旭南中学校区においては、令和6年度からの運用開始に向け、統括コーディネーターを中心に、学校長と行政関係部署で打合せ(3回)を行い、制度説明と今後のスケジュールなどを検討しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度より運用を開始する旭南中学校区(南粕谷小学校区を除く)では、現在、各地区と学校が連携、協働して活動する仕組みを生かしながら、より円滑な連携体制を構築するため準備を進めます。 ・旭南中学校において研修会等を開催することで、新たな制度の概要や仕組み等を周知するとともに、幅広く地域住民に対して参画を依頼します。 ・令和4年度から運用を開始した南粕谷小学校区では、地域と学校が連携した活動をしてはいますが、より充実した活動ができるよう活動に携わる地域住民を増やすとともに、学校図書室ボランティア団体の確立に向けて、コミュニティの地域文庫と連携しながら協議をしていきます。 |
| | (2)多様な機関と の連携事業の実施 | No.28 少年少女 発明クラブの発 足と促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの工作や実験を通して、互いに高め合い、発想の引き出しを増やし、子どもたちの創造力を養います。 ・キャリアデザインとして「ものづくり」分野への志向を広げ、身近な生活の中にも「科学」を追求する人間形成を図ります。 ・大人になった会員がさらに下の世代へ科学技術や多角的なものの考え方を伝えていくサイクルをつくりまします。 | <ul style="list-style-type: none"> ・少年少女発明クラブの指導員と令和5年度からの活動計画を協議し、少年少女発明クラブの発足準備を進めます。 ・少年少女発明クラブをPRするため、デモ講座「わくわく!サイエンスラボ」を指導員と計画し、2回開催します。 ・発明協会へ「少年少女発明クラブ」の開設申請をして、令和5年度のクラブ員を広く募集します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導員との打合せ会を5回開催し、少年少女発明クラブの開設概要、令和5年度の活動計画等を協議し、発明協会への開設申請を行いました。 ・デモ講座「わくわく!サイエンスラボ」の内容を指導員と計画し、「風力 レーシングカーを作ろう」を8月7日、親子プログラミング講座を12月18日に開催しました。 ・各小学校に令和5年度の発明クラブ員募集のチラシを配布し、広く募集しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・少年少女発明クラブを開講し、計画どおりに1年間ものづくりや実験を通して、発明の基礎を学ぶことができるよう、活動を支援します。 ・指導員との打合せ会を開催し、発明協会が主催する発明くふう展に参加するなど、翌年度以降の活動計画を協議します。 ・少年少女発明クラブをさらに発展させるため、企業等への協賛を募集します。 |

知多市生涯学習まちづくり推進計画における生涯学習スポーツ課 前期（令和3～6年度）事業計画について

| 基本施策 | 推進項目 | 取組項目 | 今後の方向性 | 令和4年度 事業内容 | 令和4年度事業実績 | 令和5年度 事業内容 |
|---------------------------------|---------------------|---|---|--|---|--|
| 民4 間学校、 家庭、 企業、 地域政 | (2)多様な機関との連携事業の実施 | No.31 学校と地域におけるスポーツ活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どものときから運動に親しむ習慣を身に付け、体力を高められるよう学校や地域において子どもの体力の向上に取り組んでいきます。 ・中学校での部活動指導員の導入や地域における指導者の人材確保など、学校と地域におけるスポーツ活動の充実を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の10小学校において、子どもの体力向上実践事業を展開し、子どもの体力向上を促進します。 ・学校開放施設として新たに5中学校のグラウンドを追加し、身近な場所で子どもや大人がスポーツを楽しめるよう機会を提供します。 ・愛知県サッカー協会による放課後サッカー教室の開催支援を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の10小学校において、子どもの体力向上実践事業を展開し、子どもの体力向上を促進しました。→11月9日 講演会 ・学校開放施設として新たに5中学校のグラウンドを追加し、身近な場所で子どもや大人がスポーツを楽しめるよう機会を提供しました。 ・愛知県サッカー協会による放課後サッカー教室の開催支援を行い、19人の参加がありました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の10小学校において、子どもの体力向上実践事業を展開し、子どもの体力向上を促進します。 ・身近な場所で子どもや大人がスポーツを楽しめる機会を提供するため、学校施設開放を継続して行います。 ・愛知県サッカー協会による放課後サッカー教室の開催支援を行います。 |
| | | No.32 まちかどギャラリー事業の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・作品の感想を展示者に伝えるような仕組みをつくることで、さらに展示者の創作意欲を高め、事業の活性化を図ります。また、オンライン動画配信やSNSなどを活用し、事業周知を行うとともに、新規展示会場の発掘・幅広い年齢層への働きかけを行うことで、多世代の市民交流の場とするともに、多様な文化芸術活動の支援を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に引き続き、会場による展示回数の偏りを減らすため、ホームページで展示回数の少ない会場について特集を組めるよう準備していきます。 ・令和3年度に引き続き、展示会場での展示イメージを持ってもらい、出品して頂けるよう、課のホームページ等に展示の様子が分かる写真を掲載できるように準備していきます。 ・定期的に追加出品の募集の通知を出品者にお渡しし、各会場での展示回数を増やしていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・展示予定表と併せて、追加展示の案内を送付したことで、追加展示の希望者がありました。 ・「ホットラインちた」で、まちかどギャラリーの特集を組み、放送しました。 ・ホームページで、各会場の展示の様子がわかるように、説明と写真を掲載しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・追加展示の案内を四半期毎に送付し周知させることで、各会場での展示回数を増やしていきます。 ・登録者を増加させるため、市民美術展の目録にまちかどギャラリーのチラシを入れ込み、PRしていきます。 ・各会場で展示状況のヒアリングを行い、課題や問題点などを聞き取り、対処法を考えていきます。 |
| 5 学習成果を 活かす 機会の 充実 | (1)学習を発表する機会の提供 | No.33 市民大学ちた塾による地域還元事業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学ちた塾の学びの輪をつなげることができるよう、多様な年代の人たちが交流できる場を地域の中につくり、市民大学ちた塾の講師や学生が、学習成果を発表、教え合うことのできる場とします。 ・市民大学ちた塾が生涯学習を日常に取り入れる基盤となれるよう、まちの先生事業をモデルとし、知多半島内の学校とのつながりを持ちます。また、他市町の市民大学とも連携し、横のつながりによるまちづくりを進めていきます。 ・学習成果を地域社会へ還元する取組を推進することで、地域活動への参加意識の高揚を促し、地域で活躍できる人材の育成をしていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・(市民大学ちた塾の学習成果の地域還元活動(病院・高齢者施設への訪問等)は今期は原則中止を予定しています。) ・市民大学ちた塾の講師に対して、市内公共施設で開催される成果発表となるようなイベント等の情報を提供します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学ちた塾の講師に対して、市内公共施設で開催される成果発表の機会や場所を提供しました。また、成果発表の開催情報をSNSで発信し、周知を行いました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学ちた塾20周年に合わせ、講師や学生が交流できる場や体験会、成果発表のできるイベントを提供し、学びの輪をつなげていきます。 |
| | | No.42 博物館中高生ボランティアの育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学生と高校生を対象としたボランティアを新たに募集し、養成講座や実習を通して郷土の歴史や文化を学ぶ機会を設けることで、若い世代の文化的活動を支援し、地域で活躍できる人材の育成に努めます。あわせて、博物館活動にも参加してもらい、博物館事業の充実を図っていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の中学校、高校に中高生ボランティアのチラシを配布し、ボランティアの募集をします。郷土の歴史や文化や博物館事業の運営を学ぶ機会を提供することで、将来、郷土の歴史や文化、博物館業務といった専門分野への道を志す若者を支援します。そして、今後、地域で活躍できる人材を育成します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の中学校、高校にチラシを配布し、9人が登録しています。育成講座を開催し、子ども向け講座の講師や体験講座の補助、展示の説明などを行ってもらいました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の中学校、高校に中高生ボランティアのチラシを配布し、ボランティアを継続して募集します。郷土の歴史や文化についての講座や博物館事業の運営に接する機会を提供することで、将来、郷土の歴史や文化、博物館業務といった専門分野への道を志す若者を支援し、今後地域で活躍できる人材を育成します。 |
| 6 人材 育成・ 活用 | (1)地域で活躍できる人材の発掘・育成 | No.43 学校支援ボランティア等養成講座の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れや子どもへの対応の仕方がわからないという方を減らし、未経験の活動にチャレンジする方を増やしていきます。 ・これから学校で活動しようとするボランティアへ、活動中のボランティアからノウハウを伝える機会を増やすことで、ボランティア同士の連携を促進し、相乗効果により、さらに学校のため・地域のために充実した支援が行えるようになります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ちたっ子ボランティア派遣需要の高いボランティアのノウハウを提供するため、市内小中学校の要望するボランティアについて学校からヒアリングを行い、要望の高い内容についての養成講座を検討していきます。 ・養成講座内で「ボランティア入門」の内容を取り入れ、ボランティアを行う上での心得等を学ぶ機会を提供します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校からボランティアの要望が多い、特別支援の基礎的な知識・技術を身に付けるための講座(「特別支援ボランティア養成講座」)を2月に実施しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市内小中学校が要望するボランティアについて学校からヒアリングを行い、要望の高い内容についての養成講座を検討していきます。 ・養成講座内でボランティア同士の交流等を取り入れ、より充実した支援について考える機会を提供します。 |
| | | No.48 統括コーディネーター、地域コーディネーター、学校支援ボランティアの配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、学生、保護者、NPO等、民間企業、団体・機関などの幅広い参画を得て、地域全体で継続した子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働していきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が円滑に連携・協働できるよう、南粕谷小学校区地域学校協働推進員を中心に事業等の実施をします。また、事業で課題等が生じた場合は、統括コーディネーターと連携し、課題解決を図ります。 ・南粕谷小学校区地域学校協働活動推進員を中心に、さまざまなツールを駆使しながら、事業PRや地域ボランティアを募集などを行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・南粕谷小学校区地域学校協働活動推進員においては、児童、教職員及び保護者に対して地域学校協働本部の事業を周知したほか、統括コーディネーターと月次打合せを行い、情報共有を行っています。 ・全世帯に対してボランティア募集のチラシを配布し、24人の登録がありました。今後も地域での連携体制の構築に向けて進めています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度より運用を開始する旭南中学校区(南粕谷小学校区を除く)において、「地域学校協働本部」の中心的役割を担う地域学校協働活動推進員を選定します。また、地域の人材を活用した学校支援活動や中学生ボランティアの派遣を行うため、引き続きちたっ子ボランティア事業を積極的にPRするとともに、各校区での連携体制の構築を検討します。 |